

## 人のうごき

平成29年4月届出分を掲載(希望者のみ)

### ごげっこん

加藤 尚哉さん 谷島 愛夢さん 幸町

### おくやみ

小林 スエさん	102歳	朝日
山本 フミさん	94歳	南町
東谷 久子さん	79歳	港町
澤野 尚子さん	53歳	幸町
佐藤 鐵江さん	88歳	栄町
中村 キミさん	91歳	港町
中尾 實さん	88歳	中央
千田 優さん	41歳	北2の2

## 地域おこし協力隊 羽幌隊員の日記



この春から羽幌町では4名の地域おこし協力隊員(市街地区1名、天売地区2名、焼尻地区1名)が活動していますが、今月号から月替わりで各隊員の活動を紹介します。

今月の担当は、羽幌地区担当として北海道海鳥センターに勤務しております、木内裕也です。改めまして、よろしくお願

いします。センターでは、「自然環境の保全と「地域産業の発展」の両立を目指し、様々なプロジェクトを推し進めていきます。一番力を入れたのは、シーバードフレンドリー認証制度(海鳥に優しい商品認証・PR)することです。付加価値

を付け、海鳥の保護と地域産業の発展とを結びつける制度の導入です。ワーキングチームの方々とともに、制度導入の実現に携わりたいと思います。また、その他にもピオトーブ(自然空間はぼろ)の活動、普及啓発イベント等の企画なども積極的に進めたいと思います。

先日は、ピオトーブでの活動に参加しました。ピオトーブの会(羽幌みんなでつくる自然空間協議会)のみなさんと一緒に、ブルーベリーの畑に肥料をまいたり、ピオトーブ内のごみ拾いなどを行いました。環境教育、憩いの場として、地域



ピオトーブでの活動の様子です。

「羽幌地区海鳥センター担当  
木内 裕也」

の方々に有効活用されるピオトーブづくりに、これから貢献していきたいと思

## 羽幌フォークダンスサークル

昭和54年創立以来38年が経ちました。当初会員が30名以上おりましたが、年数を重ねるごとに少なくなり今では10名と3分の1弱になっております。ですが会員の結束は前にもまして強く踊ることの楽しさを追求し、心身共に健康であり、特に最近では認知症予防としてとても良いそうでその意味からも力が入っています。

- ☆入会希望者は下記まで☆  
中央公民館 62-1178
- 練習日時 毎週金曜日  
午後7:00から
- 場所 中央公民館第2研修室



## 編集後記

現代では「こどもの日」として祝われる5月5日。この日はもともと五節句の端午の節句にあたります。端午の端は「はじめ」という意味で、「端午(たんご)」は5月最初の午(うま)の日のことでした。それが、午(う)という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降5月5日が端午の節句として定着してきたそうです。家の後継ぎとして生れた男の子が、無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となったのです。

3月3日のひなまつりが、女の子のための節句として花開いていくのに呼応するように、5月5日の端午の節句は、男の子のための節句として定着してきたようです。

## 人口と世帯数(4月末)

人口	7,237人	(- 14)
男	3,472人	(+ 11)
女	3,765人	(- 25)
世帯数	3,660世帯	(+ 19)
	( )は前月比	

